

2023年度

環境経営レポート



小林設備株式会社

対象期間 2023年4月～2024年3月

発行 2024年6月18日

目次

1	組織の概要	1
2	対象範囲	4
3	環境経営方針	5
4	環境経営目標とその実績	6
5	環境経営計画とその組織結果及び評価	9
6	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
7	環境関連法規等の遵守状況の確認と評価の結果、違反・訴訟等の有無	11
8	代表者による全体評価と見直しの結果	12

1 組織の概要

- (1) 事業者名・代表者名 小林設備株式会社 代表取締役 小林 政友
- (2) 所在地 本社 〒950-1345 新潟市西蒲区羽黒2033番地
TEL：025-375-3183 FAX：025-375-5415
資材置き場 新潟市西蒲区羽黒2033番地

- (3) 環境管理責任者 皆木 恵巳
事務局 皆木 恵巳

- (4) 法人設立年月日及び資本金
平成5年10月1日設立 資本金1,000万円 会計年度4月～翌年3月

- (5) 事業内容
建設業（管工事業、土木工事業、建築工事業、さく井工事業）
産業廃棄物収集運搬業

- (6) 事業規模（各年度末値）

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
従業員数	人	10	10	10
売上高	百万円	166.3	226.4	174.8
工事件数	件	526	604	548
床面積（事務所）	m ²	71.6	71.6	71.6
資材置き場床面積	m ²	976.5	976.5	976.5

- (7) 建設業の許可内容

許可区分	許可番号	許可の有効期間	建設業の種類
一般建設業	新潟県知事 (般-3) 第22286号	令和3年12月9日から 令和8年12月8日から	土木工事業 建築工事業 管工事業 さく井工事業

(8) 産業廃棄物収集運搬業の許可内容

◇事業の基本計画

産業廃棄物収集運搬業については、新潟県内において、主に建設産業廃棄物排出者の委託を受け車両3台を用いて収集運搬を行う。これらの実施に当たっては、廃棄物処理法を遵守し行う。

◇産業廃棄物収集運搬業

許可区域 (許可)	許可年月日	事業の範囲
	許可有効期限	
	許可番号	
新潟県 (産業廃棄物 収集運搬業)	令和5年12月28日	収集・運搬（積替え・保管を除く。） 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上、石綿含有産業廃棄物を除く。）金属くず（以上、水銀使用製品産業廃棄物を除く。）
	令和10年12月14日	
	01508146162	

◇産業廃棄物収集運搬業の用に供する全ての施設

運搬車両の種類	台数	運搬品目
ダンプ	3台	上記事業の範囲に記載した品目

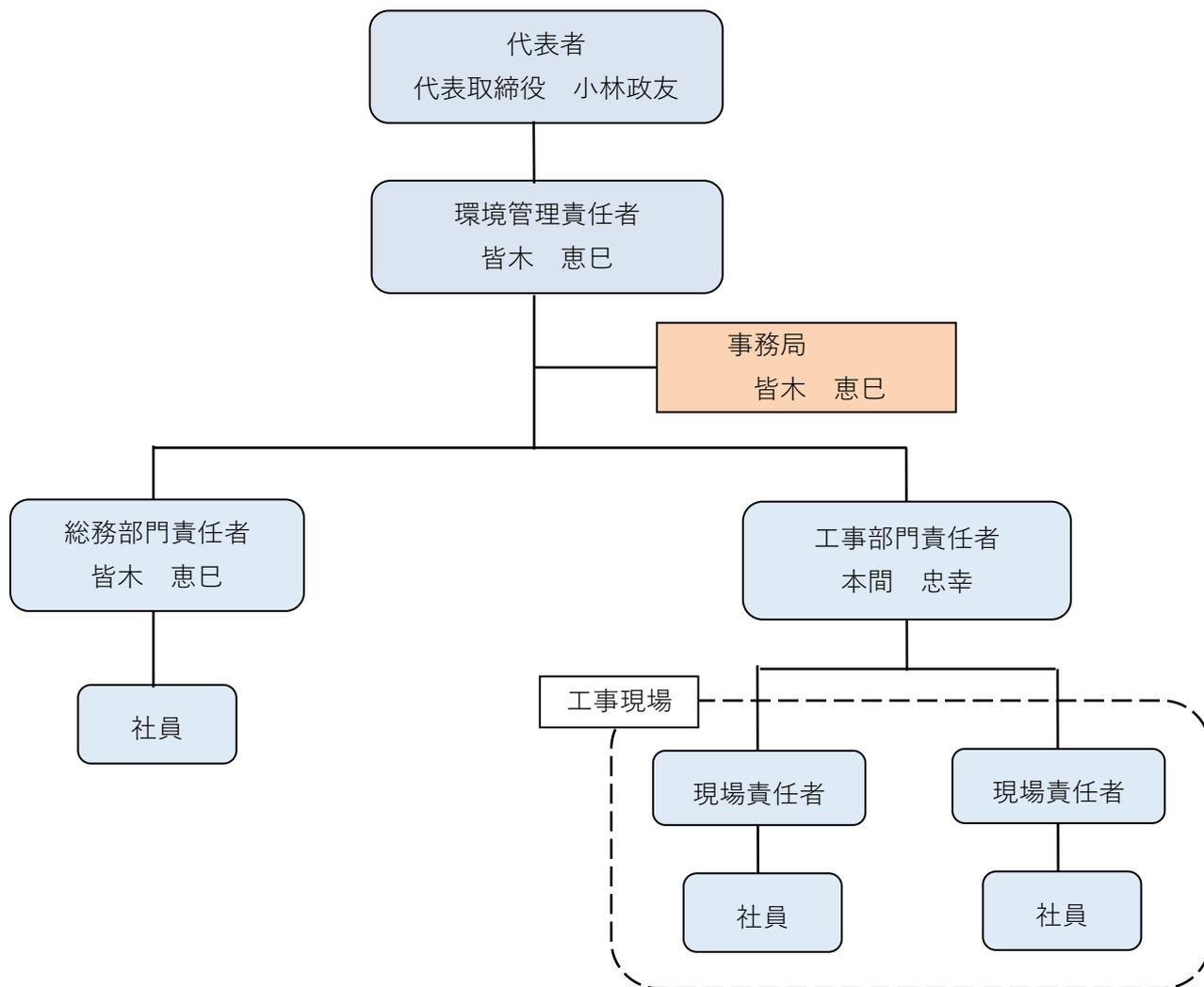
◇受託した産業廃棄物の収集運搬量

2023年度（2023年4月から2024年3月）

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
コンクリートがら	t	121.93
アスコンがら	t	310.44
廃プラ	t	2.22
合計	t	434.59

(9) EA21実施体制

小林設備設備株式会社 エコアクション21実施体制



小林設備株式会社	代表者・総務部門	工事部門	合計
	3名	7名	10名

役割分担

代表者、環境管理責任者、部門責任者の役割、責任及び権限は、次に示すとおりとする。

ア 代表者

- ① 環境管理責任者を任命し、部門及び工事現場の責任者を任命する等、実施体制を構築する。
当該責任者には、現在の職務に係りなく責任と権限を明示する。
- ② 経営における課題とチャンスを確認にする。
- ③ 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術・技能を含む。）を準備する。
- ④ 環境経営方針を定め、全従業員に周知する。

⑤ 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施及び運用状況等、全体の評価及び見直しのための情報を収集し、環境活動全体の評価を行い、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制をはじめシステム全体の見直しを行い、必要があれば改定を指示する。

⑥ 環境経営レポートを承認する。

イ 環境管理責任者

① 環境関連業務を推進し、代表者に代わって管理運営し、以下の事項を行う。

- ・ 環境経営目標、環境計画計画の作成及び定期的にその達成状況を確認・評価する。
- ・ 環境関連法規のとりまとめ及び遵守状況の点検
- ・ 問題点の発生の確認と是正措置の実施の指示

② 環境経営システムの構築と運用を円滑に行い、代表者による見直しのための情報として、環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施及び運用結果、環境関連法規の遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望等の情報を代表者に報告する。

③ 環境経営レポート案を確認する。

ウ 事務局

① 環境管理責任者を補佐し、以下のデータ記入・文書作成などの事務一般を取り扱う。

- ・ 環境負荷データの集計及び管理
- ・ 環境経営レポートの作成

② また、保管・管理は以下により一括して行う。

- ・ 文書記録類等は、ファイルに綴じ事務局書類ロッカーに保管する。
- ・ 文書改廃に伴う差し替え・廃棄は速やかに行う。
- ・ 記録類は5年を経過した後の年度末に廃棄する。

エ 総務部門責任者

① 自己の管理する部門において、全員参画による環境経営システムの運用及び管理の責務を負い、目標達成を図る他、以下の事項を行う。

- ・ 自部門の環境経営計画の実施状況の確認と評価
- ・ 環境上の緊急事態の対応と訓練の実施
- ・ 環境経営活動の教育の実施

オ 工事部門責任者

① 自己の管理する部門において、全員参画による環境経営システムの運用及び管理の責務を負い、目標達成を図る他、以下の事項を行う。

- ・ 自部門の環境経営計画の実施状況の確認と評価
- ・ 環境上の緊急事態の対応と訓練の実施
- ・ 工事現場の実施体制の確認及び指示
- ・ 環境経営活動の教育の実施

2 対象範囲

全組織・全事業をエコアクション21活動及び認証の対象範囲とします。

3 環境経営方針

小林設備設備株式会社

環境経営方針

弊社は、米どころ新潟の穀倉地帯、新潟平野において建設業を営んでいます。

地球温暖化の影響で、年々異常気象が著しくなり、コメの生育適地もどんどん北に移動しているとも聞きます。

弊社としても、業務を行う中で二酸化炭素の排出をはじめとする環境への負荷を与えているので、今後は、以下の指針に基づき、自発的に環境への負荷を減らす活動に全社を挙げて取り組むことにより、米どころ新潟、そして地球環境を守ることに貢献します。また、経営の課題やチャンスを踏まえ、環境経営の継続的な改善に努めます。

- ・ 電力や化石燃料の省エネルギーを進め、二酸化炭素の排出量を削減します。
- ・ 水道水の使用を減らし、水資源を保全します。
- ・ 建設廃棄物の分別・リサイクルにより、排出量削減や再資源化を進めます。
- ・ 化学物質の適正使用に努めます。
- ・ 環境負荷の抑制のため省エネ・節水機器の施工及び整備の促進に努めます。
- ・ 環境関連法令その他自ら約束した事項を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
- ・ 環境経営方針は全従業員に周知し、自己啓発に努めます。

2021年 8月31日

小林設備株式会社

代表取締役 小林政友

4 環境経営目標とその実績

(1) 環境経営目標

2021年度（2021年9月～2022年8月）から2024年度までの中長期の環境経営目標を下表のとおり定めました。2022年度以降は、会計年度（4月～翌年3月）に合わせた期間としています。

中長期の環境経営目標（2021年9月～2024年度）

項 目	単位 又は区分 (年間値)	基準年実績	環境経営目標（△基準年比の削減）					
		2021年4月～2022年3月	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
		2020年9月～2021年8月	2021年9月～2022年8月	2022年4月～2023年3月	2023年4月～2024年3月	2024年4月～2025年3月		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	6,043.0		5,952.4	5,922.1	5,891.9	
			6,399.0	6,335.0				
		対基準年度		△ 1.0 %	△ 1.5 %	△ 2.0 %	△ 2.5 %	
	化石燃料使用量の削減	ガソリン	ℓ	13,128.3		12,931.4	12,865.7	12,800.1
				12,702.7	12,575.7			
			対基準年度		△ 1.0 %	△ 1.5 %	△ 2.0 %	△ 2.5 %
		軽油	kg	6,942.3		6,838.2	6,803.5	6,768.7
				6,314.6	6,251.5			
			対基準年度		△ 1.0 %	△ 1.5 %	△ 2.0 %	△ 2.5 %
	都市ガス	㎥	4,254.0		4,190.2	4,168.9	4,147.7	
			4,002.0	3,962.0				
		対基準年度		△ 1.0 %	△ 1.5 %	△ 2.0 %	△ 2.5 %	
計	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	60,711.9		59,801.2	59,497.7	59,194.1	
			57,746.5	57,169.0				
		対基準年度		△ 1.0 %	△ 1.5 %	△ 2.0 %	△ 2.5 %	
水使用量の削減	㎥		720.0		712.8	709.2	705.6	
			779.0	775.1				
		対基準年度		△ 0.5 %	△ 1.0 %	△ 1.5 %	△ 2.0 %	
一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	kg		45.9		実態把握		45.4	
			185.3	実態把握	181.6	181.6		
		対基準年度			△ 2.0 %	△ 2.0 %	△ 1.0 %	
建設廃棄物の再資源化の推進 (再資源化率)	%		97.3		98以上	98以上	98以上	
			96.4	97以上				
		対基準年度		0.6ポ ¹ イト増	0.7ポ ¹ イト増	0.7ポ ¹ イト増	0.7ポ ¹ イト増	
省エネ・節水設備の整備の推進	施工 件数		14		実態把握	15	16	
			未把握	実態把握				
		対基準年度				1件増	2件増	

購入電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度東北電力(株)の調整後排出係数0.522kg-CO₂/kWhを使用。

PRTR制度対象物質の使用はないため、化学物質使用量の削減に関する環境経営目標は設定していません。

一般廃棄物排出量は、2021年度実績値を基準に2022～2023年度目標値を設定し、2022年度実績値を基準に2024年度目標値を再設定しました。

省エネ・節水設備の整備の推進は、2022年度実績値を基準に2023～2024年度目標値を設定しました。

(2) 環境経営目標の実績

2023年度の環境経営目標に対する実績は下表のとおりです。

環境経営目標の達成状況（2022年4月～2024年3月）

項 目	単位又は 区分（年 間値）	基準年実績	基準経営目標	実績	評価 ○：達成 ×：未達成	
		2021年度	2023年度 基準年比の△削減率・▲増加率			
		2021年4月～ 2022年3月	2023年4月～2024年3月			
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電力使用量の削減	kWh	6,043.0	5,922.1	5,131.0	○
				△ 2.0 %	△ 15.1%	
	ガソリン	ℓ	13,128.3	12,865.7	11,684.3	○
				△ 2.0 %	△ 11.0%	
	軽油	kg	6,942.3	6,803.5	6,022.9	○
△ 2.0 %				△ 13.2%		
都市ガス	m ³	4,254.0	4,168.9	3,432.0	○	
			△ 2.0 %	△ 19.3%		
計	kg-CO ₂	60,711.9	59,497.6	52,738.2	○	
			△ 2.0 %	△ 13.1%		
水使用量の削減	m ³	720.0	709.2	810.0	×	
			△ 1.5 %	-12.5%		
一般廃棄物排出量の削減 （可燃ごみ）	kg	185.3	181.6	41.3	○	
			△ %	△ 77.7%		
建設廃棄物の 再資源化の推進 （再資源化率）	%	97.9	98.0	98.4	×	
			0.1ポイント増	0.1ポイント減		
省エネ・節水設備の整備 の推進	件数	14.0	15.0	34.0	○	
				20件増		

購入電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度東北電力(株)の調整後排出係数0.522kg-CO₂/kWhを使用。

PRTR制度対象物質の使用はないため、化学物質使用量の削減に関する環境経営目標は設定していません。

(3) 環境経営目標の実績評価

①二酸化炭素排出量の削減

2023年度は目標達成出来ました。今後も温暖化や異常気象に対応しつつ目標達成に努めたい。

②水使用量の削減

2023年度の水使用量は目標達成出来ませんでした。
節水の意識は根付いているものと思われ、今後も無理のない節水に心掛ける。

③一般廃棄物排出量の削減

社員のリサイクルや分別意識も高まり、目標を達成出来た。
昨年度に引き続き大幅に達成されていることから、2024年度目標値を変更した。

④建設廃棄物の再資源化の促進

工事現場によっては、再資源化出来ないガラス・陶磁器くず等もあり
その年の達成率に変わってくると思われる。
今後も、委託契約を結び、マニフェストを発行し、しっかりと再資源化の意識を高める。

⑤省エネ・節水設備の促進

施主の省エネ意識もあり、メーカーも力を入れており、環境配慮型の機器の普及に目標達成出来ました。

5 環境経営計画とその取組結果及び評価

(1) 環境経営計画とその取組結果の評価

2023年度(2023年4月～2024年3月)の環境経営計画及び環境経営計画の実施状況を部門別に年2回点検し、その平均値を下表に示しました。評価点の低い活動項目については、向上を目指して取り組んでいきます。

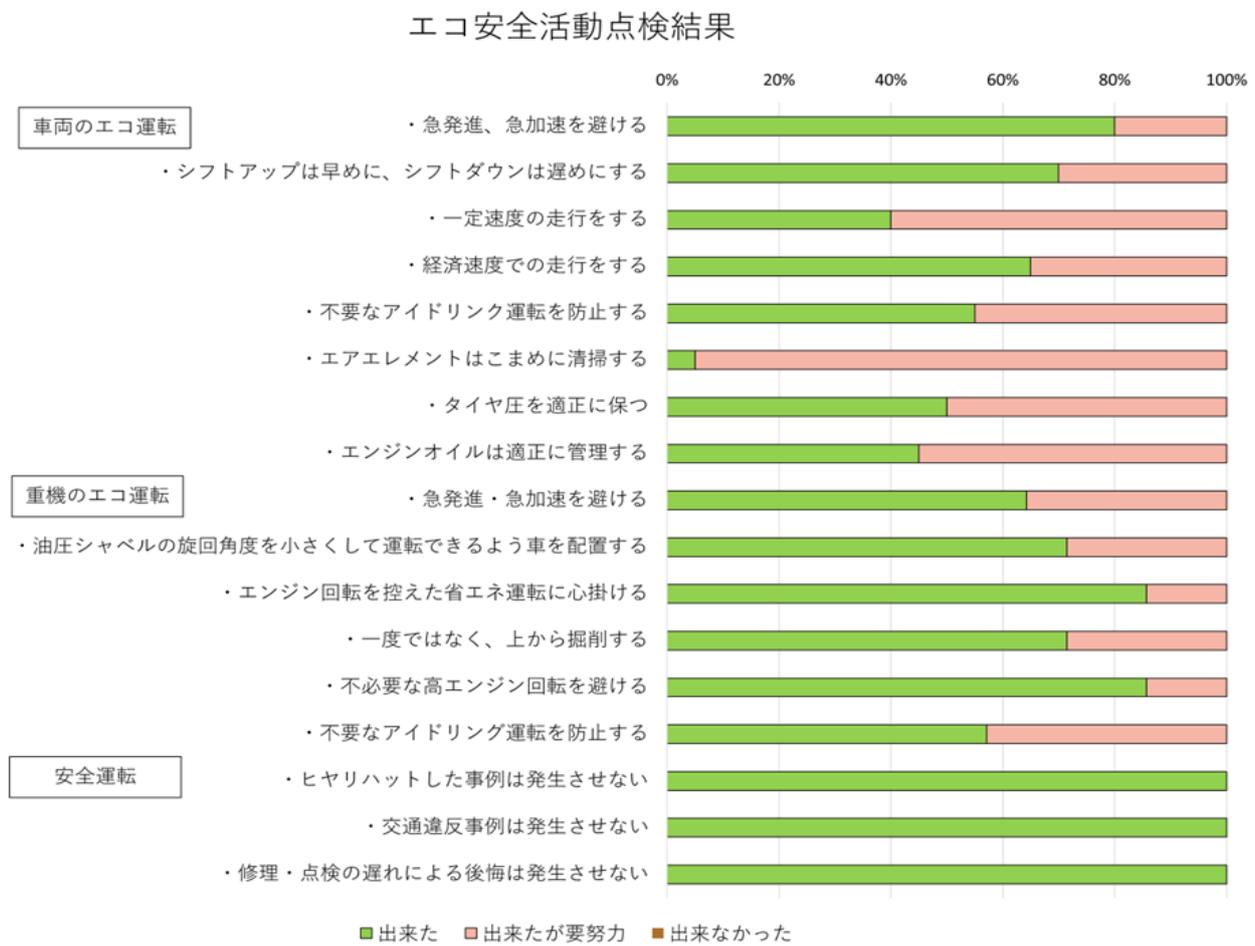
環境経営計画とその点検記録(2023年度) 集計 2023年4月から2024年3月の平均値

評価基準 3：出来た。 2：出来たが更に向上が必要 1：出来なかった

環境経営計画	日程	評価点・責任者			次年度の活動計画
		事務所・休憩室	作業場	現場	
		皆木	小林	本間	
二酸化炭素排出量の削減					
電力使用量の削減					
昼休みは消灯する。	通年	2.5	—	—	継続
不要な電灯は消灯し、電灯使用の無駄をなくする。	通年	2.5	2.0	—	継続
エアコンのフィルターの掃除を定期的に（シーズン中2回）行う。	6月・12月	3.0	—	—	継続
冷房温度を28℃以上、暖房温度を20℃以下に設定する。	通年	2.0	—	—	継続
家電等の待機電力は、極力使用しない	通年	2.5	—	—	継続
軽油その他の化石燃料使用量の削減					
乗用車及びトラックのエコドライブを実践する。	通年	3	—	3	継続
重機の省エネ運転を実施する。	通年	—	—	3	継続
暖房温度を20℃以下に設定する。	11～3月	2	—	—	継続
ガス湯沸かし器の無駄な使用はやめる。	通年	3	—	—	継続
水使用量の削減					
水の出しばなしはしない。	通年	3	2.5	—	継続
洗車への水使用は極力少なくする。	通年	3	2	—	継続
ガス湯沸かし器の節水を行う。	通年	3	—	—	継続
建設産業廃棄物の再資源化の促進					
工事関係の産廃は、分別して再資源化する。	通年	—	2.5	2	継続
業における省エネ機器の整備の推進					
省エネ機器を推奨しその整備・設置基数を増やす。	通年	2.5	—	2.5	継続
化学物質の適正管理					
適正使用・適正保管の定期的な確認	9月3月	—	2.5	—	継続
一般廃棄物(可燃ごみ)の削減					
コピーは原則両面使用する。	通年	3	—	—	継続
片面使用紙は裏面を再使用する。	通年	3	—	—	継続
不要なパンフ・雑誌・段ボール等の紙類は極力分別リサイクルする。	通年	3	3	2	継続
5S活動を進める。					
物品の定位置活動を進める。	通年	2.5	2.5	2	継続
整理整頓を進める。	通年	3	2.5	2	継続

(2) エコ安全活動の点検結果

安全運転・エコドライブ・重機の省エネ運転の活動状況を各人が点検しました。その結果は下図のとおりです。更に努力が必要な活動項目として、エコドライブ活動のうち、エレメントはこまめに清掃する。これらについては、実践の向上に努めます。



6 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標は、P6に記載したとおりで、環境経営計画はP9に記載の通りです。引き続き現行の環境経営計画を継続して実施します。

7 環境関連法規等の遵守状況の確認と評価の結果、違反・訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規について遵守状況を自ら点検した結果、下表のとおり違反なく、全ての関係法規を遵守していることを確認しました。

また、関係行政当局よりの違反等の指摘、並びに住民等からの当社への苦情等はなく、訴訟についても皆無でした。

NO	関係法令
1	水質汚濁防止法
2	浄化槽法
3	騒音規制法
4	廃棄物処理法
5	新潟市産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例
6	建設リサイクル法
7	家電リサイクル法
8	自動車リサイクル法
9	新潟市生活環境の保全等に関する条例
10	消防法
11	新潟市火災予防条例
12	一般高圧ガス保安規則
13	道路交通法
14	道路運送車両法
15	建設業法
16	石綿障害予防規則
17	フロン排出抑制法
18	オフロード法

8 代表者による全体の評価と見直しの結果

項目	点 検 項 目	変更の必要性	指 示 の 内 容
見直しに係る指示事項	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更の必要はない
	環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更の必要はない なお、一般廃棄物排出量の削減の2024年度目標値は2023年度取組途中において変更済みである
	環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更の必要はない
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	現行の実施体制を維持する
	その他の環境軽視システム	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更を要する事項はない
コメント	<p>上水使用量の未達成については原因不明だが、引き続き節水に取り組む エコアクション21活動はまだ手探り状態であるが、2024年度も会社全体で取組み 社員一人一人が環境に対する意識を持って活動していく</p>		